



学校教育目標 「学ぶたのしさ 遊ぶ楽しさ つながる楽しさ」

No.6

豊島小学校だより

令和8年（2026年）7月14日発行

校長 黒木 優一



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/tesima/>』をご覧ください。

『生活に関するアンケート』の結果（1学期）

本校では今年度より新たに児童生徒支援コーディネーターという生徒指導に関する加配教員が配置され、生徒指導に関する課題の解決に向けて学校体制で取り組んでいます。1学期に重点的に取り組んだ内容は次の通りです。

①子どもたちの不安や心配事を素早くキャッチする

→毎月『元気チェック』というアンケートを実施して、定期的に子どもたちがSOSを出しやすい環境を作ります。アンケートに書かれた心配事や不安については、担任をはじめとした全教職員を対象として、児童が相談相手を選び、相談しやすい教師またはSC／SSWが聞き取りを行います。聞き取った内容は集約して、教職員間で共有し、内容に応じた対応を行います。



②児童同士のトラブル（いじめ・暴力を含む）はていねいに対応する

→児童同士のトラブルが起きた際には、教職員間で共有し、双方の話を丁寧に聞き取ります。トラブルが起こったことに対する指導だけでなく、その後の支援も含めた指導を行います。また、保護者の方にもすみやかに連絡を行い、解決に向けた取り組みとその後の支援についても理解と協力をお願いします。



先日、『元気チェック』とは別に学期に1回行う「生活に関するアンケート」を行いました。結果は以下の通りです。今後子どもたちの実感が伴うような取り組みを進めていきます。

	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う(強肯定)	自分にはよいところがある	学校に行くのは楽しい	しょう来のゆめや目ひょうを持っている	地いきや社会をよくするために何をすべきか考えることがある(4～6年のみ)	イライラしたりかなしいときに、自分の気持ちを言葉で伝えられる	みんなが安心してすごすために、自分にできることがあると思う	こまったときに、学校でそうだんできる人や場所があると思う
肯定的な回答の割合(1学期)	85%	80%	81%	83%	76%	66%	82%	79%
R7の数値	95%	73%	64%	58%	71%	68%	81%	68%

《よかった点》「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」「将来の夢や目標を持っている」「こまったときに学校で相談できる人や場所がある」

《改善点》「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」

→「やられたらやりかえす」という考えの子どもたちがまだ多いです。したがって、自分なりの理由があれば暴力や暴言がゆるされると思っていますが、どんな理由であれ、いじめや暴力は絶対にゆるされません。

【6年生修学旅行：5月21日・22日】

《広島平和記念公園・ツネイシしまなみビレッジ》

6年生は1泊2日の日程で広島県の平和記念公園とツネイシしまなみビレッジに行きました。

1日目は平和記念公園のセレモニーからのスタートです。代表の児童が全校児童で折って作った折り鶴を「平和の子の像」にささげ平和を願いました。

午後からは、語り部ボランティアさんと一緒に碑巡りを行いました。その後は平和記念資料館の見学です。しみじみと「来てよかった。」と口にする姿から、実物を目にする事で改めて戦争の悲惨さを実感し、平和な世界の実現のために「自分たちにできることは何か」を考えていた子どもたちでした。

2日目の朝はカッター体験を行いました。悪天候が心配されましたが、無事に体験を行うことができ、楽しい時間を過ごすことができましたようです。その後の座禅体験も自分自身と向き合っていた子どもたちです。

修学旅行では平和についての学びをよりいっそう深めること、新たな体験することが重要だと考えます。これまで取り組んできた『平和学習』がより深まり、新たに自分自身や友達のよいところに気づくなど、とても学びの多い修学旅行になりました。



【5年生林間学舎：7月2日・3日】

《兵庫県養父市鉢伏高原》

5年生は兵庫県の養父市鉢伏高原に行きました。出発地の豊中市も目的地の養父市もあいにくの天気でしたが、そんなお構いなしに元気な5年生。行きのバスの中も大盛り上がりでした。1泊2日の日程の中でいくつか予定を変更しましたが、どの活動もみんなで協力して楽しい活動になりました。

1日目は世界で一つだけのキーホルダーづくり、アマゴつかみ（串焼き）、キャンドルファイヤーです。アマゴつかみは思うように魚を捕まえられない子も多く、みんな大苦戦していました。捕まえた魚は串焼きにして食べましたが、「命をいただく」ということを身近に感じてもらえたようです。

2日目は延期になっていた登山、飯盒すいさん（カレー作り）です。登山では全員が頂上まで登り切ったことがすばらしかったです。声を掛け合い、自分を奮い立たせながらがんばって登った頂上からの景色はさぞ絶景に見えたことでしょう。みんなで作ったカレーもおいしかったです。

この林間学舎で5年生が大切にしてきた「WA（わ）」をさらに太く、強いものにできたのではないのでしょうか。林間後がとても楽しみです。

